

平成28年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立矢口特別支援学校		知的障害	通学区域	大田区、世田谷区		
		「家庭との連携と一貫した教育の推進」 -子ども一人一人が人間性豊かに成長し、地域で生きる力と働く力を育成する学校を目指して-			基	進路実績	企業就労率 59.2%(27年度実績)	
基	所在地	〒146-0093 大田区矢口一丁目26番10号	電話番号	03-3759-6715	本 情 報	教 育 課 程 の 特 徴	①	小学部・中学部、高等部の一貫教育の推進
	アクセス	(1) 東急多摩川線武蔵新田駅 下車徒歩5分 (2) (3)		②			キャリア教育の推進	
設置学部	小学部、中学部、高等部		③	高等部教育課程の閉課程に向けた内容検討・小中学部教育課程の推進				
幼児・児童生徒数	192名(小学部87名、中学部74名、高等部31名)		④	教育支援員導入に伴う授業改善に基づいた教員の専門性の向上				
学級数	43学級(小学部21学級、中学部16学級、高等部6学級)		⑤	地域と連携した防災教育推進と福祉避難所開設訓練の実施				
本 情 報	副籍実施状況			65名(直接的交流50名、間接的交流15名)	学 校 評 価	回答率(保護者74.7%、教職員100%、地域住民 53%) 保護者肯定的評価率(すべての設問平均)80%、教職員90%(平成27年度分)		
	スクールバス	6台(大型2台、中型4台)		ホームページ		http://www.vaguchi-sh.metro.tokyo.jp/		
そ の 他	平成28年度副籍事業充実 特別支援教育センター校(大田区、世田谷区)							

目指す学校 -子供一人一人が人間性豊かに成長し、地域で生きる力と働く力を育成する学校- ①児童・生徒の可能性を最大限に伸ばし、質の高い教育を実践する②保護者、地域、関係諸機関との連携を図り、地域で生きる学校づくりを進める

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	自立・社会参加を促えたキャリア教育の充実 ①生活に役立つ力のあいさつ力の充実 校内あいさつ検定の実施 ②専門家連携による清掃検定の実施③進路便り発行 ④地域における作業製品販売実習の実施 ⑤個別の進路指導計画一覧によるPDCAの実施	①校内あいさつ検定については15名程が実施した。次年度に向けての小・中で新規児童生徒が受講した。 ②清掃検定については、これまでの検定を受けた高等部生徒が上級を目指したスキルアップを図る生徒もいた。 ③定期的に発行することができた。内容についても担当者が高等部閉課程に向けた工夫や改善を取り入れた。(発行10回) ④区役所販売は、予定通り高等部作業班が中心となることができた。(年間8回) 後半次年度の継続として中学部生徒が販売活動を手伝うことも図った。	
目 標 ②	全校的な専門性の向上 ①全国公開研究会実施 ②特別支援学校教員免許状取得率の向上 ③専門性自己チェックシートの活用④大学や専門家と連携した授業改善研究⑤全教員の公開授業と授業自己チェックシートの活用	①平成29年2月3日に実施。50名ほどの教育関係者参加あり。小中高最後の継続的な研究発表を行い、次年度は校内研究発表として取り組む。 ②特別支援学校認定講習受講についてもほぼ100%に近く参加している。取得率も75%ほどに達している。 ③専門性の自己チェックシートも自己申告等で活用し、自分の専門性もOJTを活用して特に若手教員へのつながりを期待する。 ④教育支援員の導入で教員の専門性や児童生徒のアセスメントを検討することで授業改善等につながっている。	
目 標 ③	総合力の発揮と効率的な学校運営の推進 ①都立高校との特別支援教育連携②ミドルリーダーの育成③仮校舎建設・新校舎建設に向けた対応と教育内容の検討④都研究指定校(3年目)として副籍制度の充実事業の実施⑤地域と連携した総合防災訓練の実施	①これまで関わりのある都立高校と本校コーディネータが巡回指導や講演会を通して特別支援教育の推進や連携を図った。 ②主幹会は毎月1回以上開催。高等部閉課程に向けてのミドルリーダーの育成が必要になってきている。 ③9月から仮校舎に移転し、現在小中学部が学校生活を取り組んでいる。その後、本校舎を解体し、新校舎建設計画も着手している。 ④副籍事業の内容の充実に向けて取り組み、65件(うち直接交流50件)の取り組みを実施することができた。またセン	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	25年度		26年度		27年度		今年度		29年度	30年度	31年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	企業就労率希望者25年度より(平成29年高等部閉課程)	100	100	100	100	100	100	100	90			
目標②	専門性自己チェックシートの活用ポイントアップ率	5ポイント	8ポイント	5ポイント	8ポイント	8ポイント						
目標③	マネージメントサイクルによる進行管理率	90	100	90	98	90	95	90	90	90	90	90

